但馬の経済指標

令和７年４月～６月

兵庫県但馬県民局

【但馬の経済概況】

＜ポイント＞

①但馬信用金庫の但馬管内景気動向調査によると、業況判断DIは、前期より15.5ポイント悪化し、−15.9となった。

②有効求人倍率は、6月期1.31倍。前年同月と比べて0.01ポイント増加した。

		項　　目	今期（4月～6月）	対前期（増減）	対前年同期（増減）
1	業況判断DI （全業種計）	但馬信用金庫	△ 15.9	△ 15.5	△ 10.4
2	雇用		6月	対前月（増減）	対前年同月（増減）
		有効求人倍率	1.31	△ 0.03	＋ 0.01
			6月	前月比（%）	前年同月比（%）
		有効求人数（人）	3,522	△ 0.87	△ 6.80
		有効求職者数（人）	2,696	＋ 1.35	△ 7.03
		雇用保険受給者実人員（人）	514	＋ 19.81	＋ 3.42
3	金融		6月	前月比（%）	前年同月比（%）
		普通貸付残高（百万円）	11,242	△ 0.08	△ 7.37
			6月	前月比（%）	前年同月比（%）
		信用保証承諾額（百万円）	1,182	＋ 19.51	＋ 14.42
		信用保証債務残高（百万円）	51,555	△ 0.22	△ 8.03
4	公共工事		6月	前月比（%）	前年同月比（%）
		公共工事請負金額（百万円）	1,644	△ 62.68	△ 45.33
参考	企業倒産（全県）		今期（4～6月）	対前期（増減）	対前年同期（増減）
		件数	181	＋ 23	＋ 36
		負債総額（百万円）	14,116	＋ 2,312	△ 8,606
5	地場産業	豊岡かばん		売上高、生産量、収益ともやや少ない。	売上高、生産量、収益ともやや少ない。

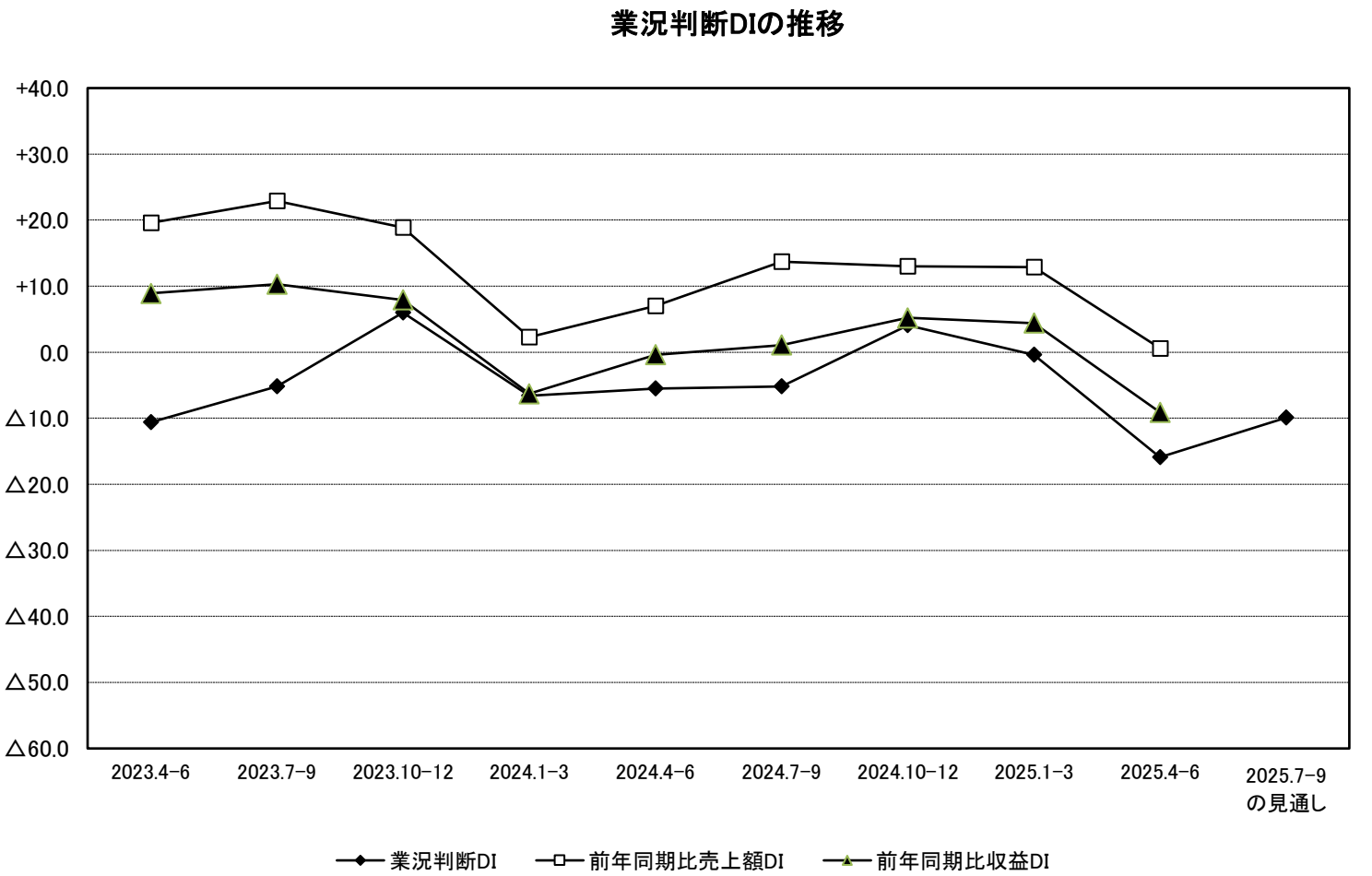
1　業況判断

但馬信用金庫

今期の業況判断DIは、前期より15.5ポイント悪化し、-15.9となった。

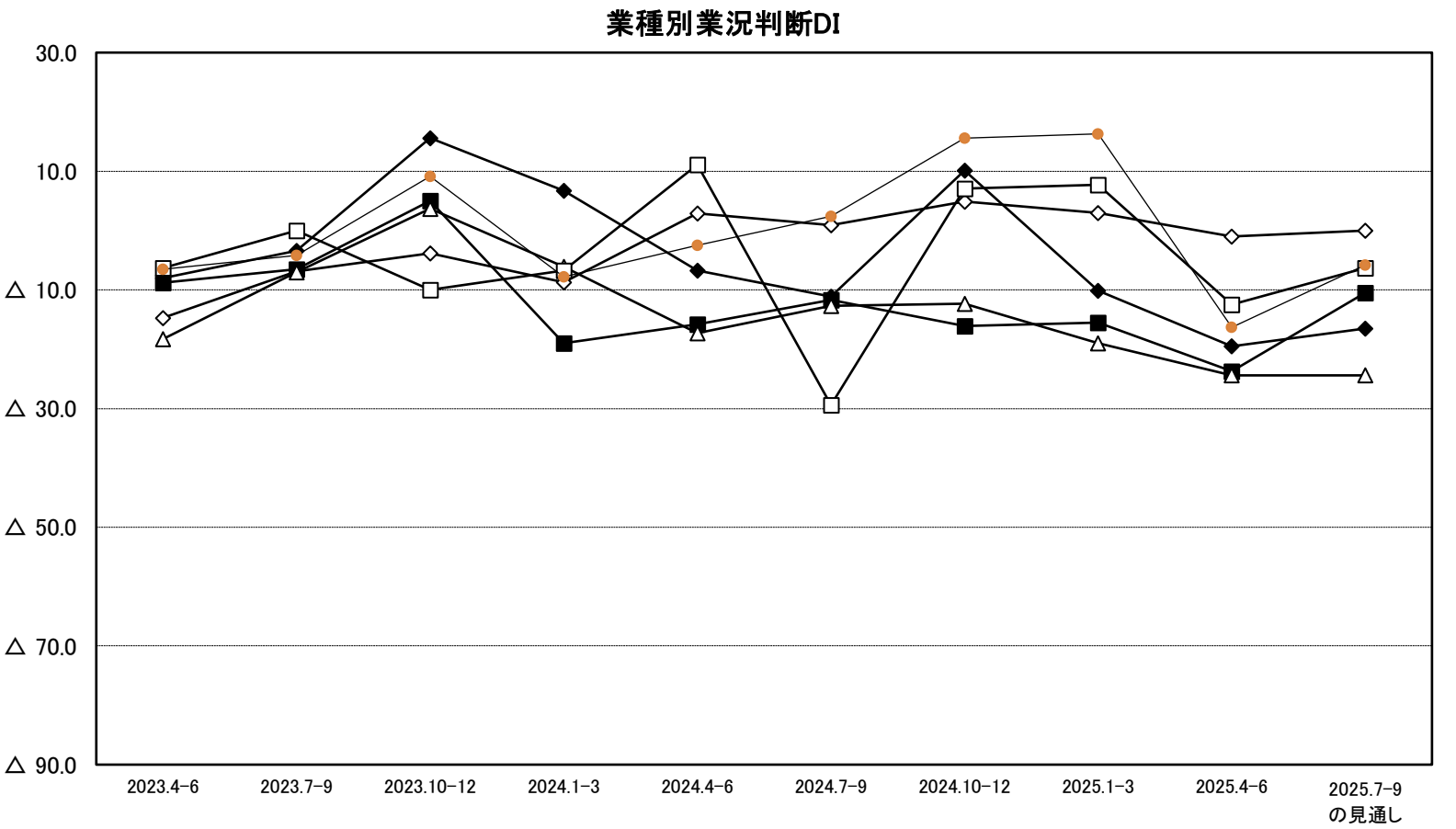
来期の見通しについては、業況判断DIが-9.9となる見通しである。

前年同期と比較した売上額DIは0.6、同収益DIは-9.1となった。



	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9の見通し
業況判断DI	△10.6	△5.2	+6.0	△6.6	△5.5	△5.2	+4.1	△0.4	△15.9	△9.9
前年同期比売上額DI	+19.6	+22.9	+18.9	+2.3	+7.0	+13.7	+13.0	+12.9	+0.6	－
前年同期比収益DI	+8.9	+10.3	+7.9	△6.3	△0.4	+1.1	+5.2	+4.4	△9.1	－

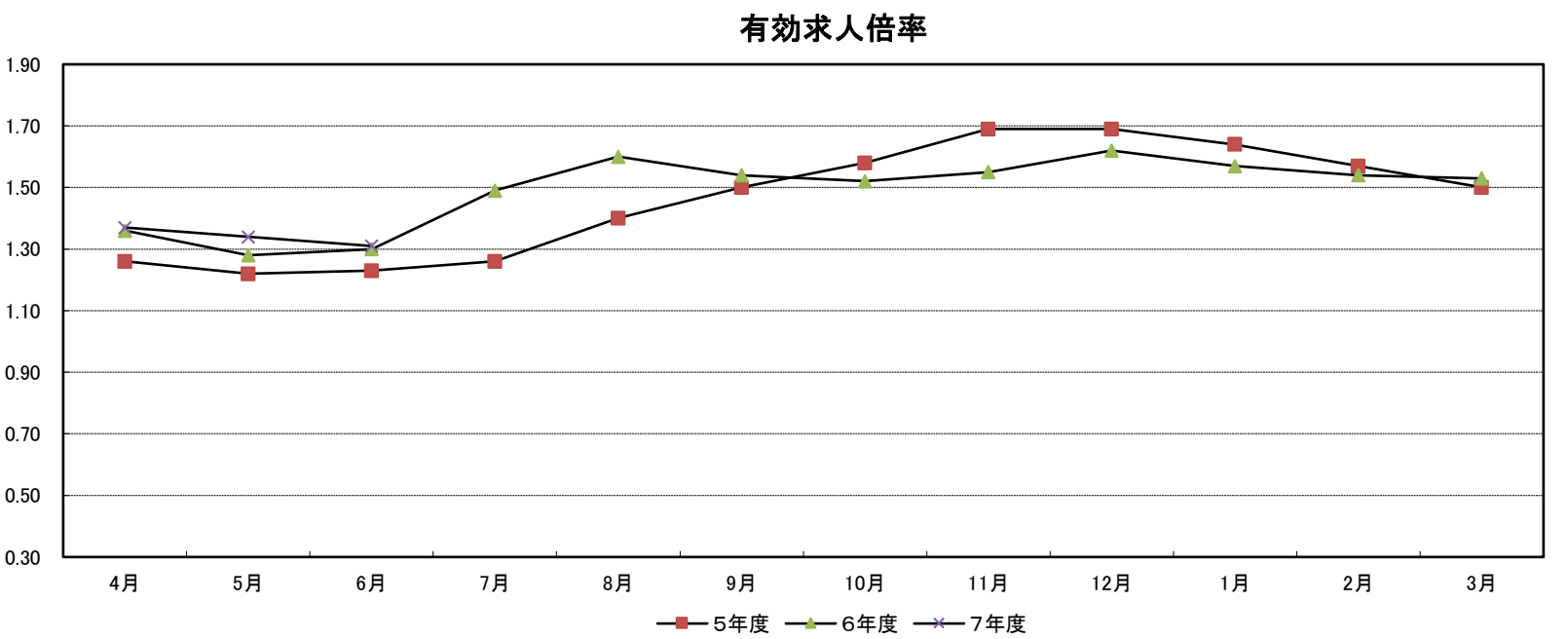
出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』



	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9 の見通し
製造業	△ 8.0	△ 3.4	15.6	6.7	△ 6.7	△ 11.1	10.1	△ 10.1	△ 19.5	△ 16.5
建設業	△ 14.7	△ 6.9	△ 3.8	△ 8.7	2.9	0.9	4.9	3.0	△ 1.0	0.0
卸売業	△ 8.8	△ 6.5	5.0	△ 19.0	△ 15.8	△ 11.7	△ 16.1	△ 15.5	△ 23.7	△ 10.5
小売業	△ 18.3	△ 7.0	3.7	△ 6.1	△ 17.3	△ 12.7	△ 12.3	△ 19.0	△ 24.4	△ 24.4
不動産業	△ 6.3	0.0	△ 10.0	△ 6.7	11.1	△ 29.4	7.1	7.7	△ 12.5	△ 6.3
サービス業	△ 6.5	△ 4.2	9.1	△ 7.8	△ 2.5	2.4	15.6	16.3	△ 16.3	△ 5.8

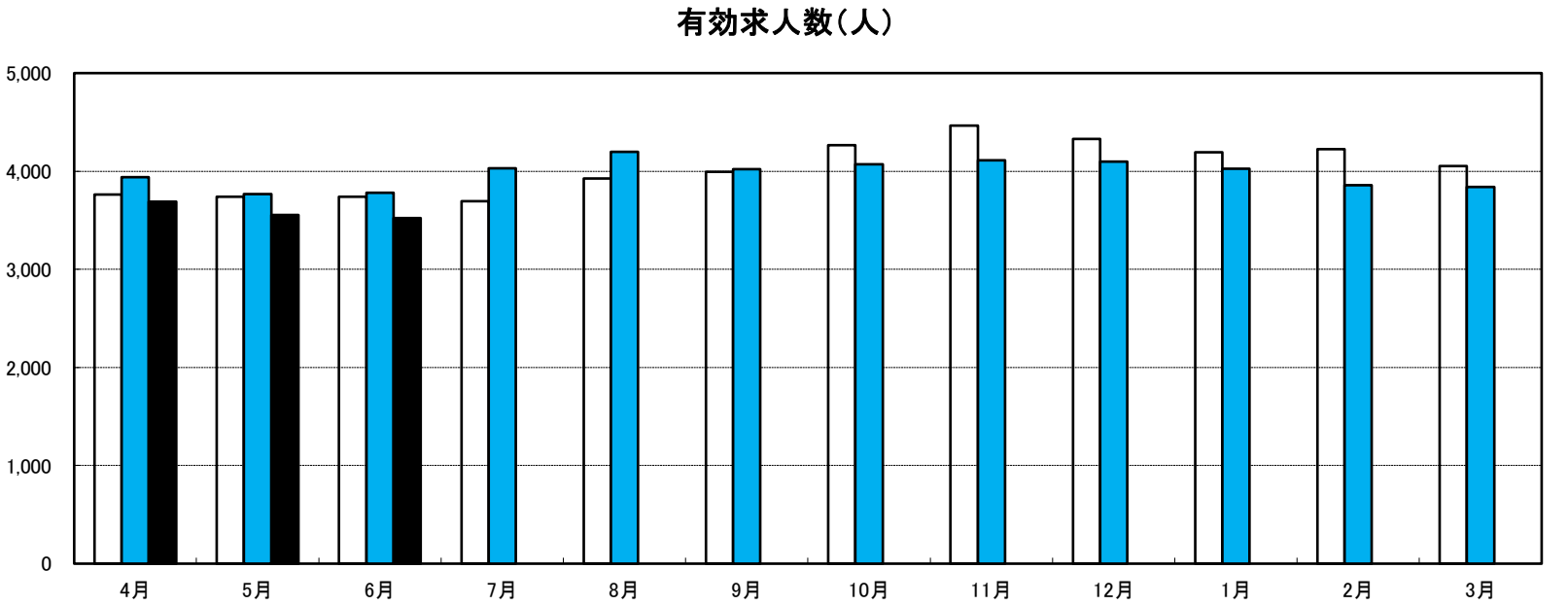
出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

２　雇用



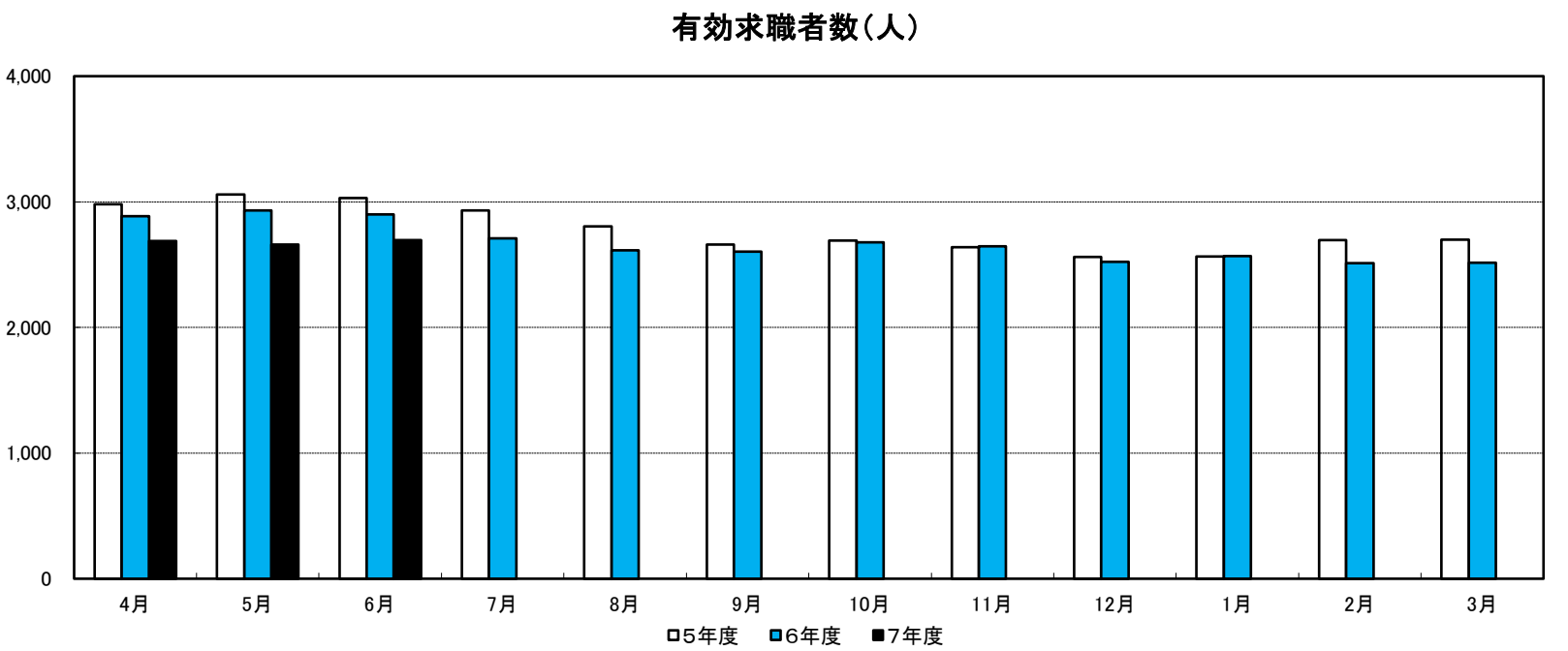
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	1.26	1.22	1.23	1.26	1.40	1.50	1.58	1.69	1.69	1.64	1.57	1.50	1.46
6年度	1.36	1.28	1.30	1.49	1.60	1.54	1.52	1.55	1.62	1.57	1.54	1.53	1.49
7年度	1.37	1.34	1.31										1.34
対前月(増減)	−0.16	△0.03	△0.03										—
対前年(増減)	+0.01	+0.06	+0.01										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』



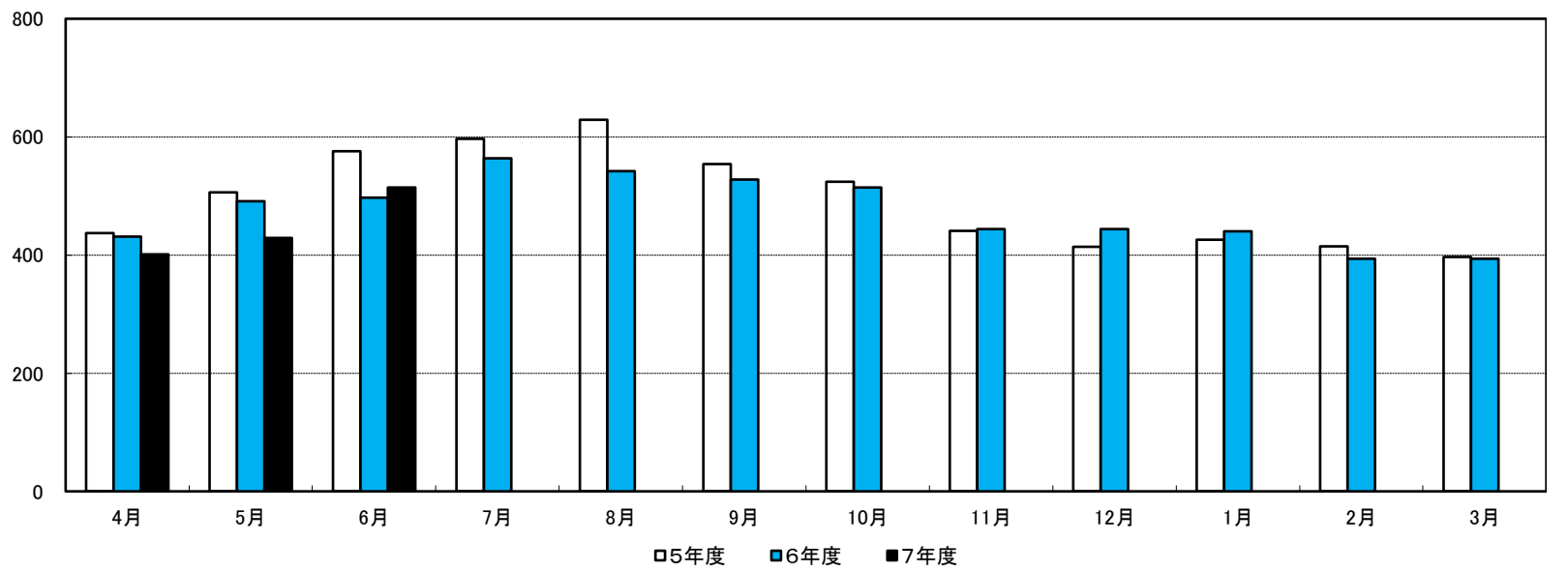
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	3,763	3,740	3,739	3,693	3,924	3,992	4,265	4,465	4,331	4,193	4,223	4,053	4,032
6年度	3,939	3,765	3,779	4,030	4,197	4,019	4,073	4,113	4,096	4,026	3,856	3,839	3,978
7年度	3,692	3,553	3,522										3,589
前月比(%)	△3.83	△3.76	△0.87										—
前年同月比(%)	△6.27	△5.63	△6.80										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	2,981	3,058	3,030	2,930	2,804	2,659	2,691	2,640	2,562	2,564	2,695	2,700	2,776
6年度	2,887	2,931	2,900	2,708	2,615	2,604	2,677	2,647	2,523	2,567	2,512	2,516	2,674
7年度	2,690	2,660	2,696										2,682
前月比（%）	+6.92	△1.12	+1.35										—
前年同月比（%）	△6.82	△9.25	△7.03										—

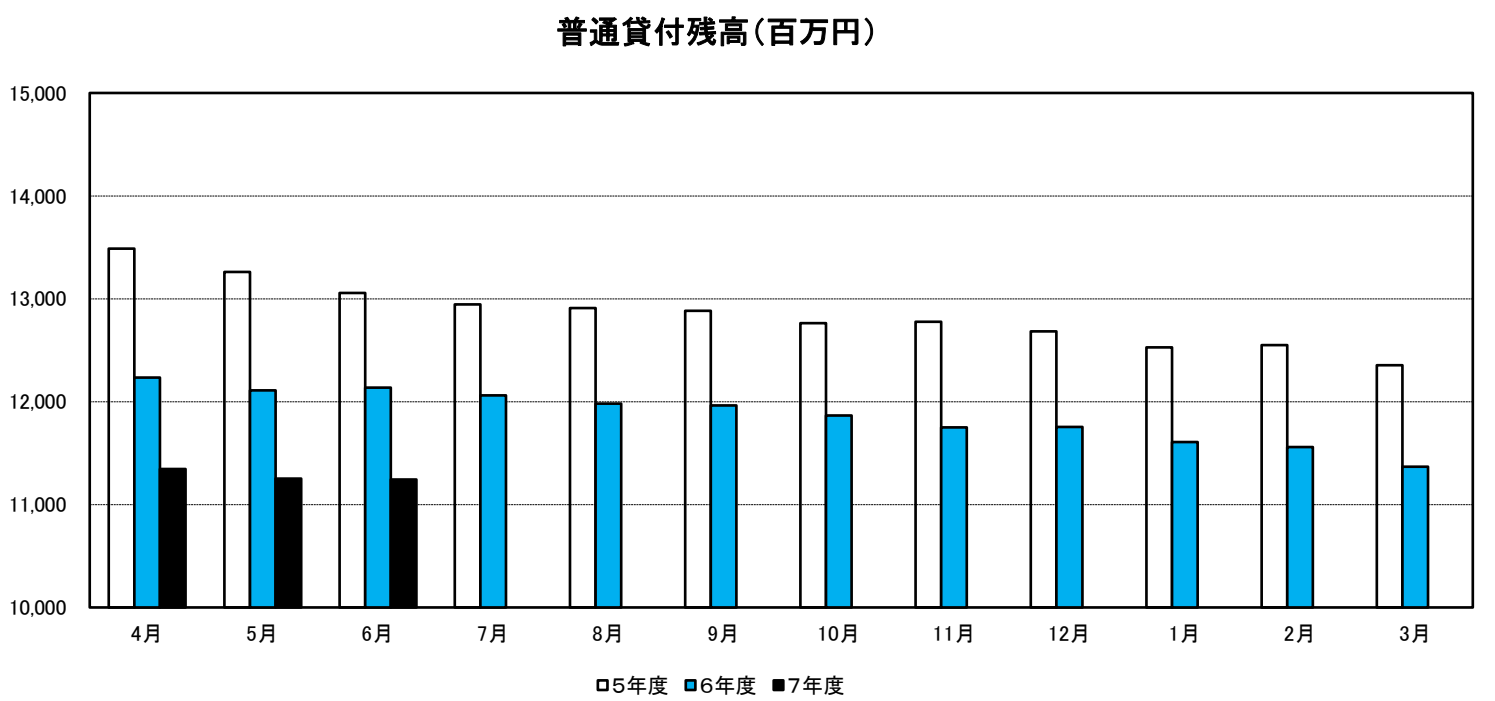
出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	437	506	576	597	629	554	524	441	414	426	415	397	493
6年度	431	491	497	564	542	528	514	444	444	440	394	394	474
7年度	401	429	514										448
前月比（%）	+1.78	+6.98	+19.81										—
前年同月比（%）	△6.96	△12.63	+3.42										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

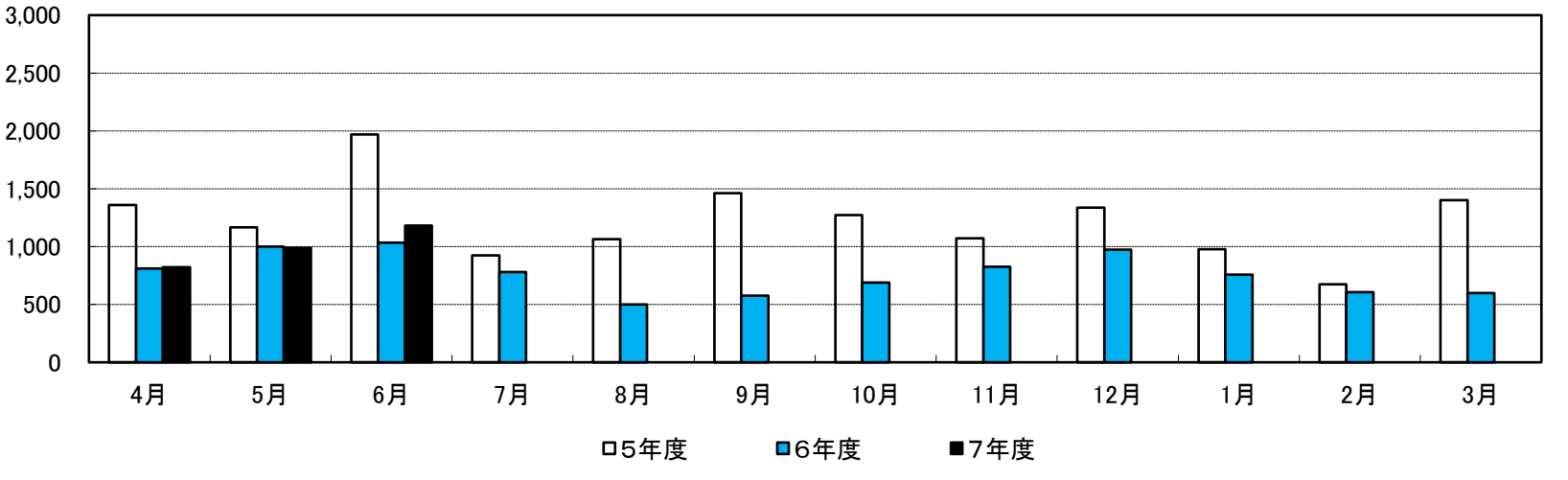
3　金融



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	13,489	13,261	13,057	12,947	12,911	12,884	12,761	12,776	12,682	12,528	12,550	12,352	12,850
6年度	12,234	12,110	12,136	12,060	11,982	11,963	11,867	11,750	11,756	11,608	11,558	11,366	11,866
7年度	11,345	11,251	11,242										11,279
前月比（%）	△0.18	△0.83	△0.08										―
前年同月比（%）	△7.27	△7.09	△7.37										―

日本政策金融公庫豊岡支店　集計

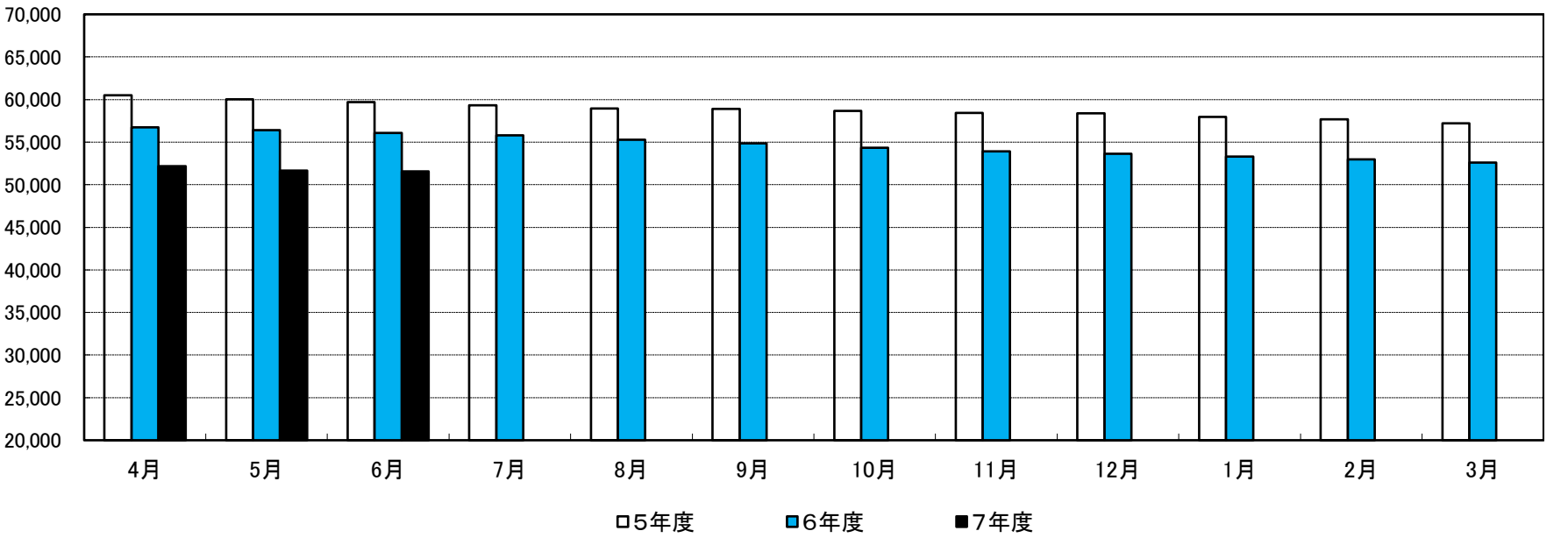
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	1,361	1,166	1,968	926	1,065	1,462	1,273	1,070	1,336	979	675	1,403	1,224
6年度	810	998	1,033	780	501	576	690	825	975	756	606	598	762
7年度	823	989	1,182										998
前月比(%)	+37.63	20.17	+19.51										—
前年同月比(%)	+1.6	△0.9	+14.42										—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

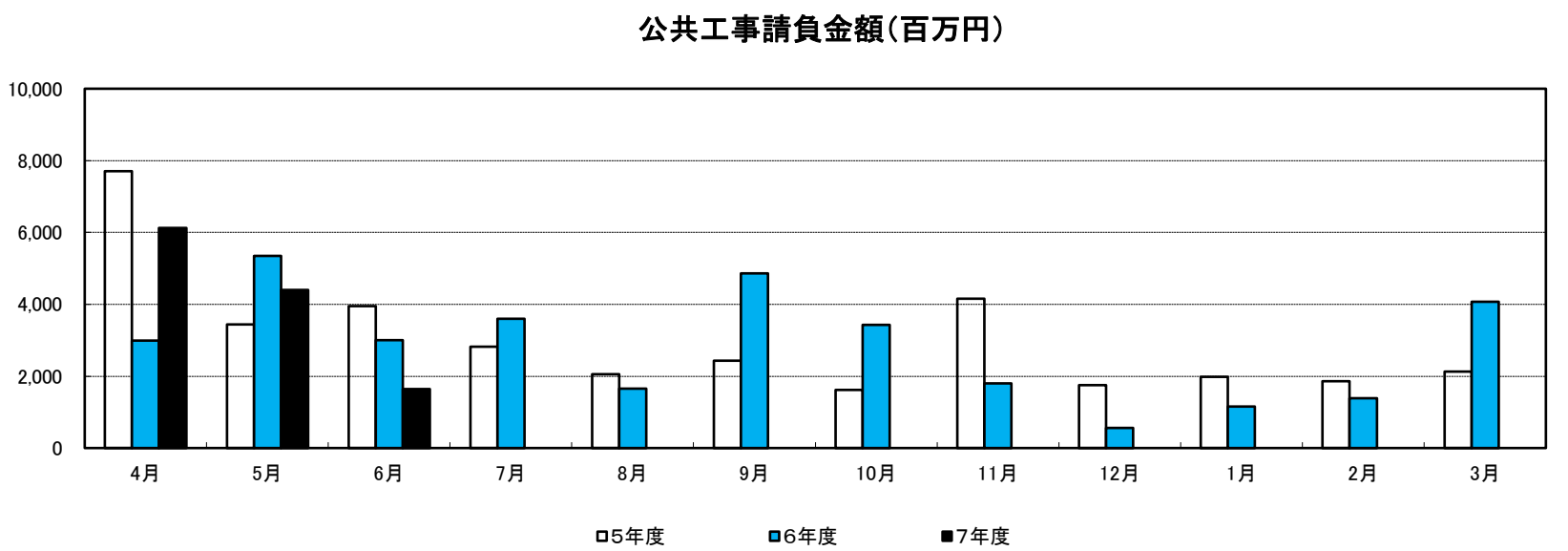
信用保証債務残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	60,486	60,043	59,702	59,339	58,933	58,912	58,651	58,420	58,365	57,976	57,659	57,190	58,806
6年度	56,758	56,401	56,055	55,783	55,257	54,875	54,341	53,897	53,624	53,308	52,996	52,579	54,656
7年度	52,166	51,668	51,555										51,796
前月比(%)	△ 0.79	△0.95	△0.22										—
前年同月比(%)	△ 8.09	△8.39	△ 8.03										—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

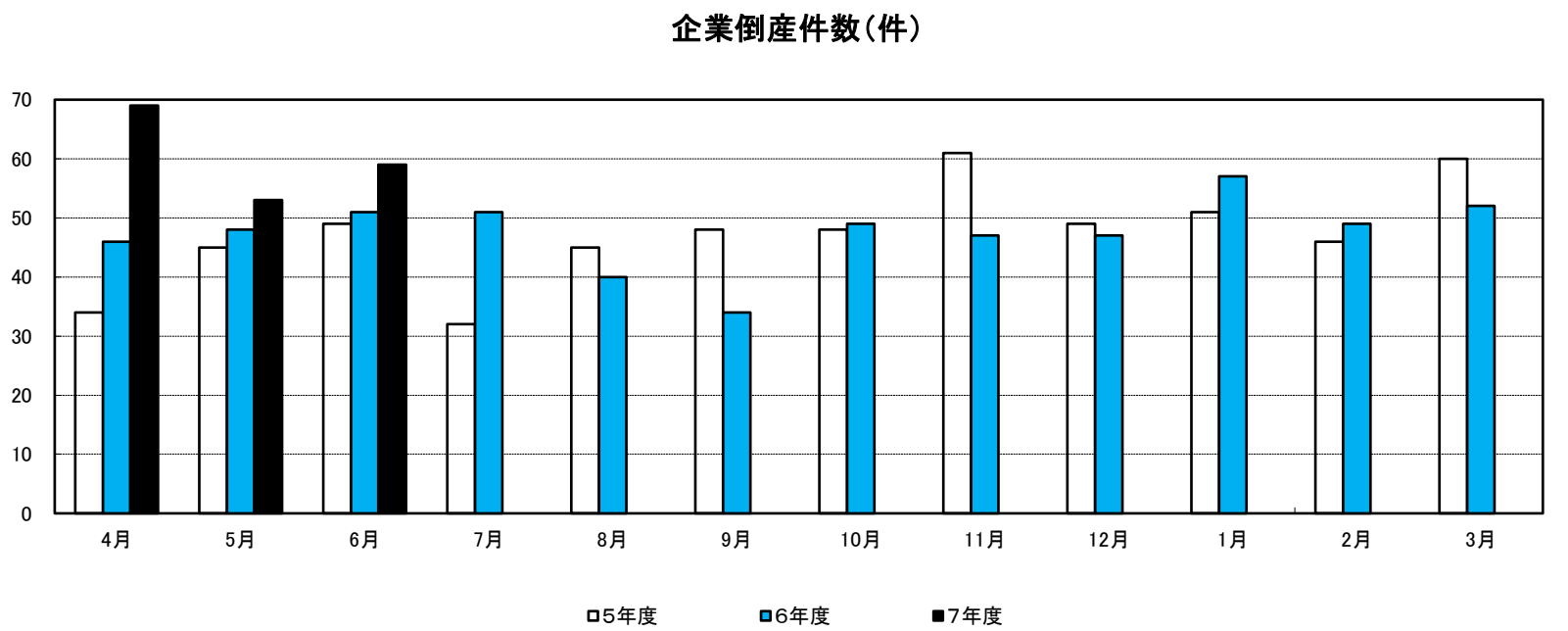
４　公共工事



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	7,702	3,442	3,954	2,824	2,058	2,429	1,619	4,152	1,751	1,978	1,866	2,123	2,992
6年度	2,995	5,343	3,007	3,592	1,656	4,862	3,430	1,794	556	1,156	1,381	4,074	2,821
7年度	6,124	4,405	1,644										4,058
前月比（%）	+50.32	△28.07	△62.68										―
前年同月比（%）	+104.47	△17.56	△45.33										―

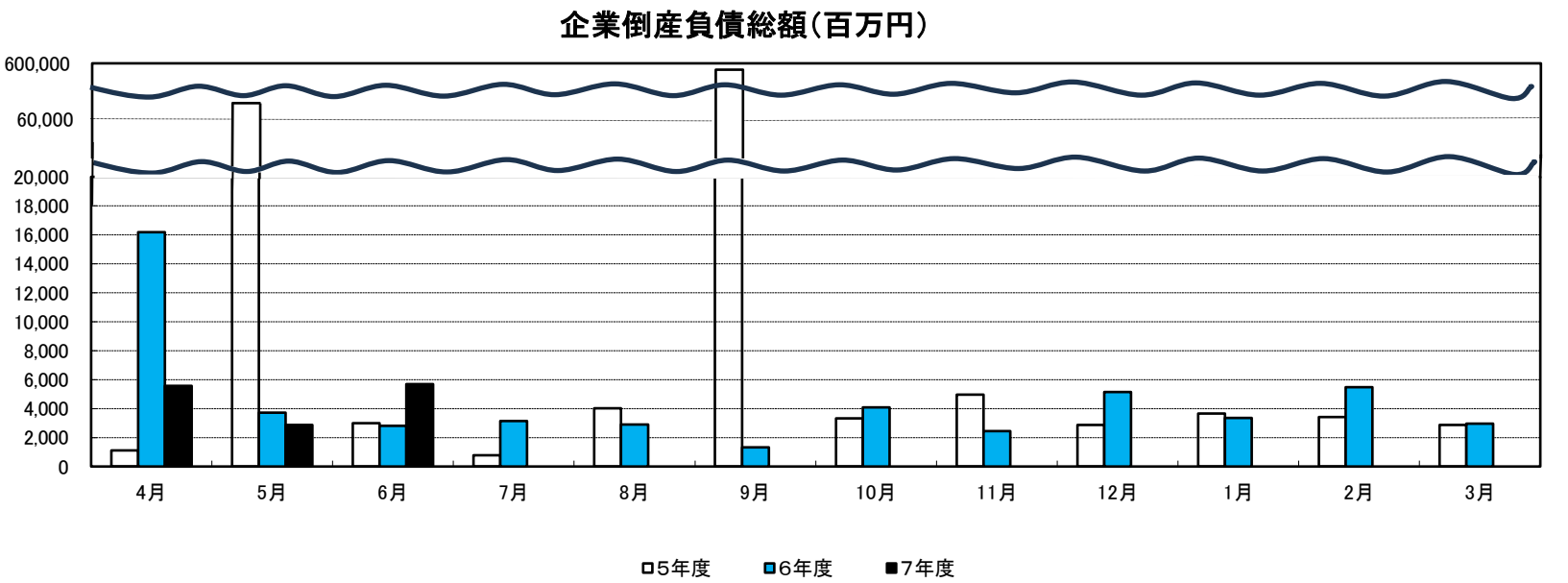
西日本建設業保証株式会社兵庫支店　集計

【参考】 企業倒産（全県）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年度	34	45	49	32	45	48	48	61	49	51	46	60	568
6年度	46	48	51	51	40	34	49	47	47	57	49	52	571
7年度	69	53	59										181

出典：株式会社東京商工リサーチ神戸支社

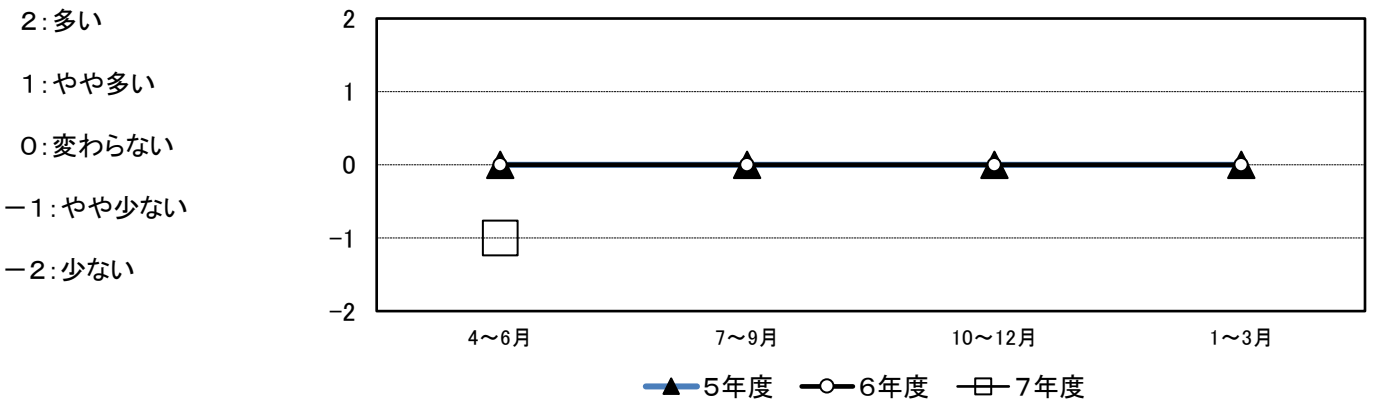


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年度	1,118	63,967	2,976	765	4,020	586,902	3,325	4,949	2,869	3,658	3,412	2,878	680,839
6年度	16,168	3,731	2,823	3,128	2,906	1,326	4,073	2,431	5,155	3,348	5,484	2,972	53,545
7年度	5,565	2,858	5,693										14,116

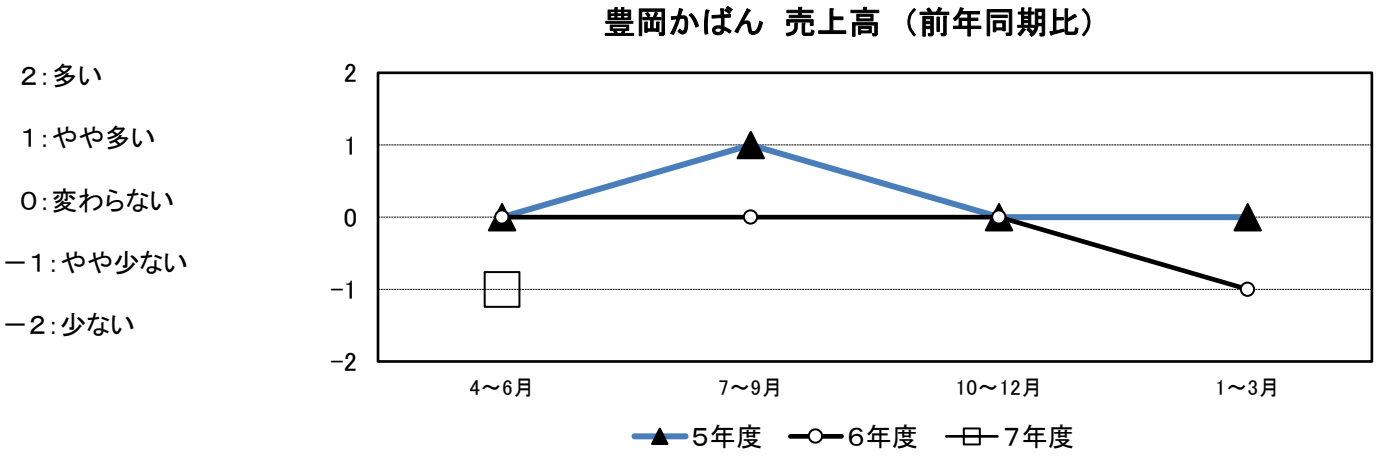
出典：株式会社東京商工リサーチ神戸支社

５　地場産業（豊岡かばん）

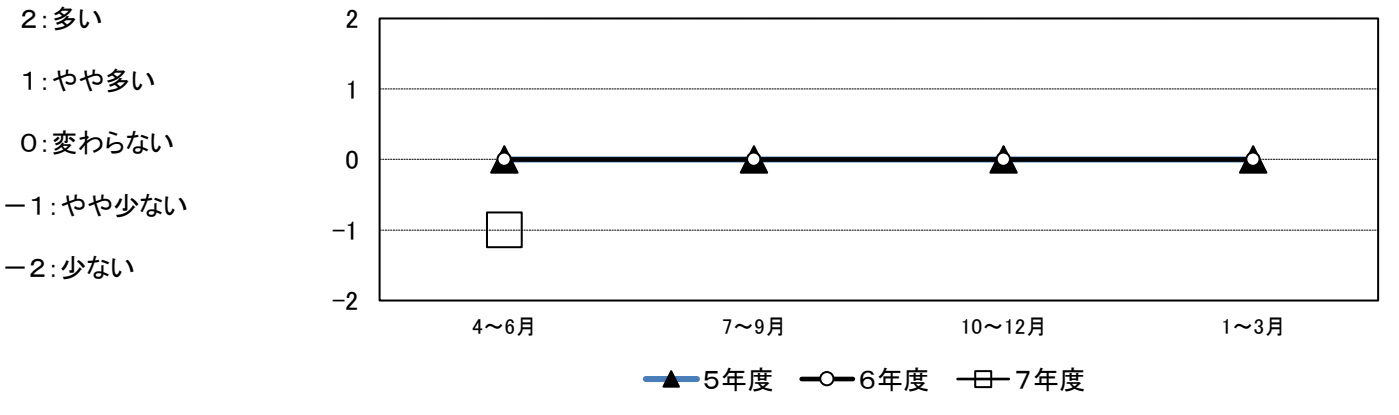
豊岡かばん　売上高　（前期比）



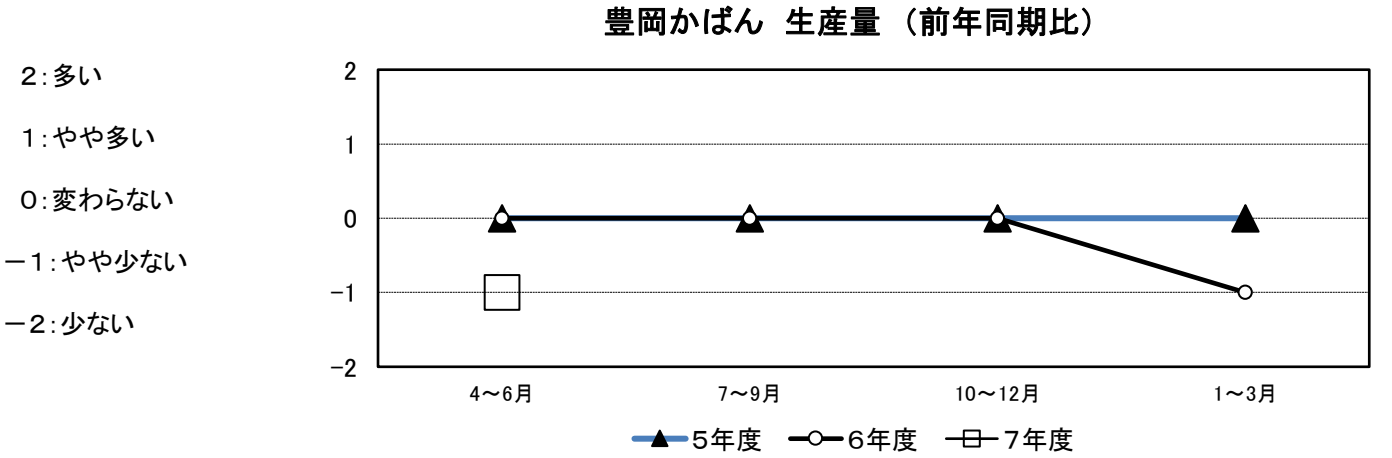
豊岡かばん　売上高　（前年同期比）



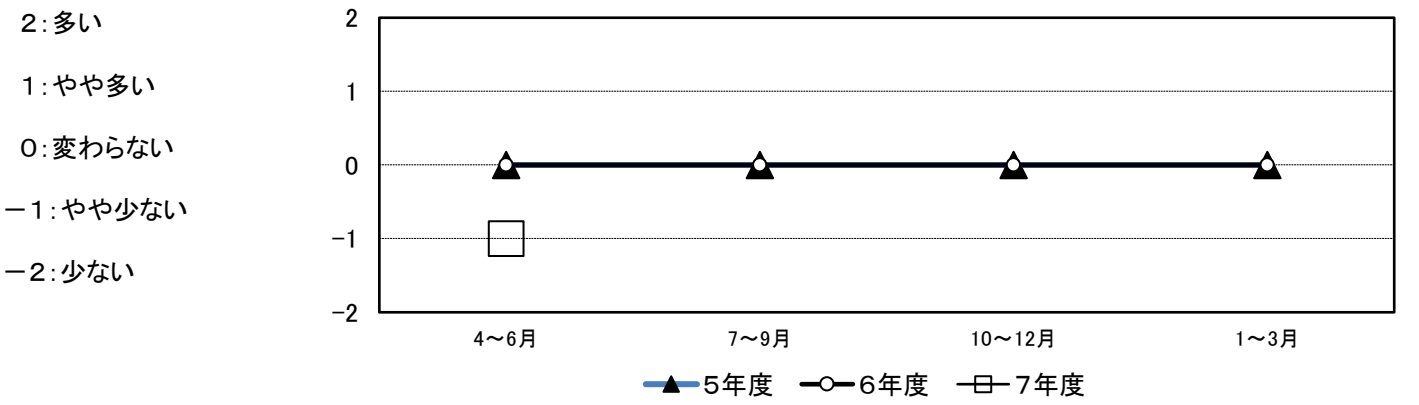
豊岡かばん　生産量　（前期比）



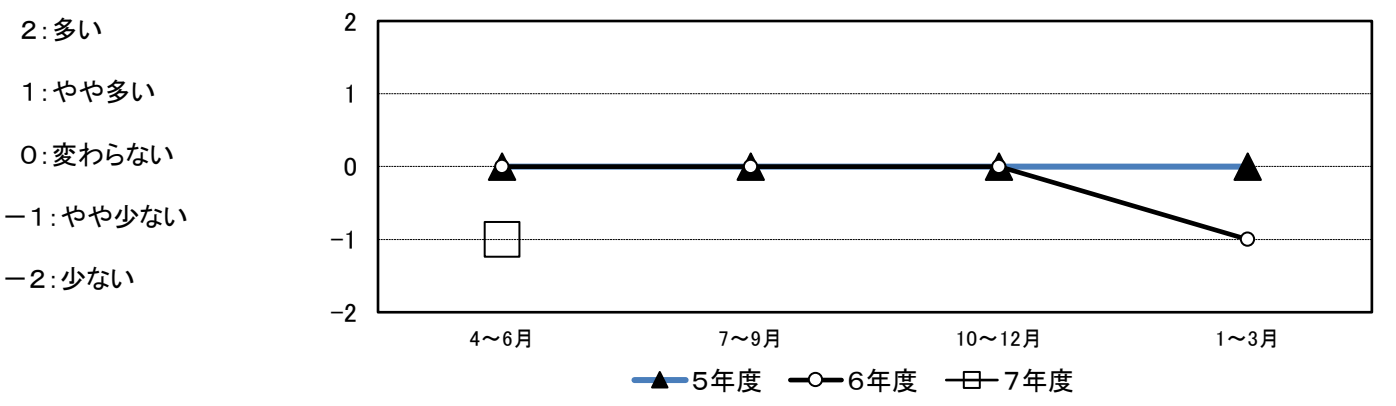
豊岡かばん　生産量　（前年同期比）



豊岡かばん　収益　（前期比）



豊岡かばん　収益　（前年同期比）



前期（令和7年1～3月）と比べて売上高、生産量、収益ともやや少ない。

前年同期（令和6年4～6月）との比較でも、売上高、生産量、収益ともやや少ない。

１月以降、全体的な物価高の中でも、とりわけコメの販売価格の高騰をはじめ、生活必需品の高騰により、鞄の消費購買力が落ち込み続けており、4月～6月では、全体的に不調傾向である。鞄製造については受注が減り、スクールかばんの受注量を減らし、一般OEMや地域ブランド「豊岡鞄」の割合を増やし、経営収益の高い分野へ変更する企業も増えている。大手OEMに頼っている企業は、大手OEMが販売価格を上げ、高級化をめざし、販売量が少なくても利益増が生じる体制に変化してきた。OEMの量が少なくなり、掛け率は同じで生産量が少なくなり、厳しい経営状況の企業もある。

小さな企業では人手不足が続いており、従業員を雇わず、家族経営で規模縮小の企業が増えている。家族経営的な企業は、従業員を解雇し、家族経営化もしくは事業継承の道を検討している。

企業地域ブランド「豊岡鞄」も新規店舗を展開しているが、知名度のない関東、北陸では非常に厳しい状況である。広島、姫路、大阪などもやや落ち込んでおり、販売目標の70%～80%の売上である。東京ではインバウンド客が徐々に増えているが、万博での効果はほとんど見られない状況である。

豊岡鞄協会　回答

６ 主要業種の概況

鞄卸売業	景況感はさほどよくない。消費動向は昨年度と比較してトータル1割程減少している。さらに例年3～4月は、進学や就職等で通常の 1.5 倍ほど売り上げが伸びるが、今年度は例月並みの売り上げであった。景気の悪化とともに衣食住の優先順位が上がり、鞄の購入が減ってきている現状。原材料はアルミ、ナイロン、糸等のほぼすべてが値上がりしているが、価格転嫁を行うと購買意欲がさらに下がり、販売不振に直結するため、現在価格交渉中である。
宿泊業	2024年度と比較すると、売り上げは増加している。地域全体でユニバーサルツーリズムを促進しており、介護団体や要介護者の家族連れ等が多く訪れている。インバウンドは岡山から空港で来日し、島根、鳥取の観光後に訪れ、その後大阪から帰国する流れが多くを占めている。原材料では特に米が値上がりしており、約20％価格上昇が起きている。飲食店ほど値上げしやすいわけではないため、一部転嫁が難しくなっている状況。

「兵庫県の経済・雇用情勢（令和7年4月）」より

食料品製造業	景況感はさほど良くない。昨年9月に価格改定を行ったため、3％程利益が増加し、価格転嫁に関しても全部転嫁を行うことができている。10月からのふるさと納税ポイント禁止により、9月ごろに駆け込みで増加するのではないかと予測している。チャットGPTやMicrosoft Copilot等のAIに関しての研修を積極的に行い、業務効率向上に努めている。原材料ではゆず、すだち等の柑橘類が海外との引き合いがあり、調達がやや困難となっている。
娯楽業・ 宿 泊 業	景況感はさほど良くない。万博等の影響か、4月 中旬ごろから売上が昨年度と比較して 10％程落ち込んだ。インバウンドも昨年と比較して減少傾向にある。 雇用人員に関しても当初の採用計画数には満たないが、但馬出身の人が大学卒業後就職する割合が昨年度と比較して高かった。4月 に突然取引先から米不足のため注文を停止された。高い米を購入することでなんとか対応できているが、状況はさほど良くはない。米国の関税に関しても見通しが立たず、動きにくいのが現状。

「兵庫県の経済・雇用情勢（令和7年5月）」より

繊維工業	景況感はさほど良くない。東南アジアからの技能実習生が多く勤務しており、現地の工場で採用した人材を、直接日本国内の工場に派遣している。管理団体を通さずに直接採用することで、月額の費用を抑えることができている。 また、1つのトラックに複数拠点への配送をまとめることで、輸送コストを抑えることができている。原糸、薬品等の原材料は高騰しているが、工場では製品の販売価格の決定権がないため、価格転嫁することができていないのが現状である
電気機械 器具製造業	景況感は悪い。2025 年1月～3月と比較すると売上・利益共に増加しているが、昨年度と比較した場合、共に減少している。近年の進学率上昇に伴い、そもそも採用対象者数が減少しているため、高校だけでなく専門学校にも求人を行っていたが、生産量が大きく減少したため、現在は求人募集を出していない。 アメリカの政策動向に関して、部品製造は影響に時間差があるため今のところ大きな影響はない

「兵庫県の経済・雇用情勢（令和7年6月）」より